

C&C

Cure and Care
communication

第83号

コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>

ナカムラ病院

介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
訪問介護事業所
居宅介護支援事業所

新年の挨拶をかえて

新年明けましておめでとうござ
います。

父、中村英雄がこの地に中村病
院(当時)を開設してから三十七
年目の新年を無事迎えることがで
きました。これもひとえに日頃の
皆様方の温かいご理解とご支援の
おかげと思っております。この場
を借りて御礼申し上げます。

設立当初の昭和五十三年当時、
認知症という言葉はまだ生まれ
おらず、認知機能の低下した高齢
者は痴呆性老人と言われていまし
た。必ず高齢化社会が訪れるとは
予測されていたものの、人々の老
いや介護に対する関心は、まだま
だ決して高いものではありません
でした。

しかし、いよいよ超高齢化社会
を迎え、その間に家族の在り方も
変化し、核家族化や団塊世代の高
齢化、昨今のアンチエイジングブ
ームも追い風となり、認知症は今
や最も身近なかつ深刻な疾患とし

て世間の注目を集めています。

一方で高齢者をめぐる介護の問
題は未だ問題が山積みであり、施
設やマンパワーの圧倒的な不足、
決して現状に見合っていないと言
えない在宅強化政策、そして介護
報酬の引き下げなど介護現場は翻
弄され、ここに来て未だ介護事業
は成熟しきっていないという印象
であります。

ですが、逆にこのような激動の
時代であるからこそ、我々は是を
是とし、非を非とする信念でもつ
て、当法人独自の理念と方針を打
ち出していける時ではないかと思
っております。

私は平成二十四年に副理事長に
就任いたしました。現場に身を置
きながら、未熟なりに少しずつで
すが、我々の高齢者のプロとして
の強みやあるべき姿が見えてきた
ように思います。

認知症や寝たきりに対する早期
介入はもはや常識となっておりま

すが、いずれの段階にしても、我々
はそれぞれの利用者様、そしてそ
のご家族とじっくり向き合い、適
切な環境と負担のない治療やケア
を提供いたします。

さて前述につながる昨年の当
法人のトピックとして、地域連
携センターの発足がありました。
前号でもお伝えしたように、既
存の相談室を拡張しただけでなく、
より皆様のニーズに迅速に対応
できるよう、法人内の連携の強
化を基盤とし、積極的に外に出
て各医療機関や事業所との情報
交換などを行い、お互いの顔が
見えるネットワーク作りを更に
強めております。センターの始
動により、若いスタッフを中心
に心なしか組織全体の気運も高
まってきたように思います。

まだ改善すべき、改革すべき点
も多々ありますが、焦らず、まず
はじっくりと地域に、そして現場
に根を下ろすこと。そのための組
織作り、連携に力を入れていき
たいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願い申し
上げます。

医療法人ピーアイエー

副理事長 中村 友美



私たちこんなことを発表してきました

第22回 日本慢性期医療学会 熊本大会

最期まで満足する介護・看護・医療

会期：2014年11月20日(木)～21日(金)
会場：市民会館崇城大学ホール・熊本市国際交流会館
ナカムラ病院からは18名が参加し3名が発表しました。

ちょっとだけ不安をなくすためにスタッフが できること ～体操の効果～

B6病棟 看護職 光島 美幸



認知症病棟で頻回に帰宅要求を訴える患者さまに対し、不安を軽減するよう体操を実施しました。職員へのアンケートの結果より、患者さまの不穏の減少や変化、今後も体操を続けていく事の有効性を確認できたことを発表しました。また、スタッフの意識も向上し、不安を訴える患者さまへ個別に対応する機会が増えました。今後も患者さまが安心して過ごせる環境を作れるよう励むと共に、不安の軽減ができるよう努めていきたいと思ひます。

重度認知症病棟における申し送り改善の 超過勤務時間とインシデントへの影響

A3病棟 看護職 坂口 亜希子



日々の申し送り時間に着目し、時間短縮することで超過勤務時間とインシデント報告数に与える影響を発表しました。短縮した時間を有効活用することで超過勤務時間を減少させることができました。また、患者要因のインシデントも減少しました。患者さまに接する時間が増えたことで、インシデントになりかける事例を未然に防ぐ効果があったのではないかとと思ひます。これからも効率的な業務・安全な環境作りに取り組んでいきたいと思ひます。

物忘れ外来を開設して ～事例検討を通して見える役割～ 地域連携センター にぎや家部門 主任 中森 一宏



平成23年7月にもの忘れ外来が始まりました。それから3年経ち、もの忘れ外来や相談員にどのような役割が必要とされているかなど事例を通して発表しました。もの忘れ外来では服薬調整などはもちろん、レスパイト入院やデイケア利用に繋げることで本人のみならず家族の支えになっていることが分かりました。また、相談員としての役割も在宅支援や地域との連携が必要となっていることも分かりました。今後も患者さまやご家族に寄り添った支援を行っていききたいと思ひます。

第25回 全国介護老人保健施設大会 岩手大会

雨ニモマケズ風ニモマケズ ～震災を乗り越えて めざそう 夢のある老健を～

会期：平成26年10月15日(水)～17日(金)
会場：盛岡市民文化ホール(マリオス)
いわて県民情報交流センター(アイーナ)
ホテルメトロポリタン盛岡 他

まいえからは5名が参加し2名が発表しました。

歩んできた人生を振り返り ～私らしく家族とともに

まいえ1 介護主任 斉藤ひでみ

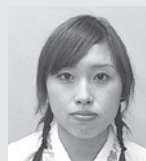


施設の中に於いても「その人らしく」生活していただくため、個別性に配慮したケアに取り組み発表を行いました。個々の生活歴や趣味などを記録したパーソナルデータを活用し、その人本来の姿を知るとともに家族にも協力いただき、その人が「私らしく」生活できる環境を整えました。画一的になりやすい施設での生活に、従来の生活様式を取り入れることで利用者さまの意欲向上に繋げることができました。今後も「幸齢社会」を実現できる老人保健施設を目指していきます。

歩きたい!!

～利用者様の想いを叶える為の取り組み～

まいえ2 介護職 田中 友美



入所者さまの「歩きたい」という想いを叶えるために担当者会議を開き、その入所者さまを対象とした転倒予防の体操と下肢筋力向上のための歩行訓練を実施しました。短期間でも継続し、訓練することによって筋力の向上のみならず、歩行に対して自信を持つことが出来、表情が日を増すごとに良くなるなど、日々の生活が変わるといふ良い結果が得られました。今後も、入所者さまの想いを尊重し生活の質が向上できる支援をしていきたいと思ひます。

観音西小学校見学 & 五日市高校職場体験

平成二十六年九月三十日(火)に観音西小学校三年生二十四名が当院の見学に来られ、また、十月十日(金)には、五日市高校二年生二十三名が、職場体験研修に来訪されました。小学三年生は、約一時間をかけて院内を見ていただきましたが、興味津々の様子で熱心に見て回られました。

五日市高校職場体験研修は、見学・体験や講義・研修等を通じて自らの視野を広げ、自己実現の礎とする目的で取り組んでおられるそうので、前回に続き二度目となりました。将来は医療・看護関係の進路を考えているという若手精鋭二十三名が、自分の進路を考えていくために、直接人生の先輩たちから学んでいきたいと研修に来られたのですが、このたびは前回と比べ参加人数も多い研修となりました。

見学後希望職種毎で分かれ、担当職員より業務の説明を受けていただき、午後からは、現場実習となりました。その際生徒の方が予



め企画していた催しを患者さまに披露していただくなど、終始和やかな、また笑いのある時間となりました。最後の質疑応答では、「想像していたのと違い、大変勉強になった」「将来を考えるうえで貴重な経験となった」と今後の進路を考えるうえで意欲的な声を沢山いただきました。

このような機会を通じて、これからの日本を担う若者が、希望を胸に高い志を持って突き進んで行くことを切に願っています。

地域連携センター
副センター長 小田 茂樹

避難訓練



平成二十六年十二月五日(金)、ナカムラ病院、介護老人保健施設まいえ、グループホームつばいは、合同で避難訓練をおこないました。この訓練は八月、豪雨により広島市北部の住宅地を襲った大規模な土砂災害をきっかけに、職員で話し合いを重ね、計画してきたものでした。大雨が続き、職員が手薄となる夜勤帯に避難勧告が出たという想定で、患者さま、入所者さまをより迅速に安全な場所へ移動、誘導するための訓練です。

当病院、施設の建物は鉄筋コンクリート造のため、建物から外に出ないことと、エレベーター



2名の夜勤者以外に、時間を計測する職員も一緒に動きました。車いすに座っているのは患者さま役の職員です。



スムーズに避難するためには、避難する側と受け入れる側が息を合わせることが大切です。ベッドに寝ているのは、患者さま役の職員です。

が使える早い段階で、下の階から上の階に避難する「垂直避難」を基本に避難経路を作成しました。

午後二時、館内放送により、職員へ避難誘導を始めるよう指示が出ました。歩行可能な方、車いすの方、ベッドに寝たままの方、医療用酸素の必要な方等、患者さまの状態に合わせた対応が求められました。初回ということ誘導する患者さまの人数を抑えていたため、あつという間に避難が完了しました。後日開いた反省会では、「エレベーターの初期設定による影響で待ち時間が意外と長かった」「通路にあるテーブルが障害物となった」等、次回の訓練に活かせる気づきがたくさん出ました。当日は、ご面会の方をはじめ多くの方々にご協力をいただきました。

総務課長 中田 英雄

平成26年 満足度調査結果報告

平成24年に続き、入院・退院患者さまご家族を対象に満足度調査を実施致しました。調査項目は前回と同じく全9項目(①医療・看護・介護について②職員の接し方について③療養生活について④食事について⑤院内や室内の環境、設備について⑥情報の提供について⑦プライバシー保護について⑧面会について⑨その他)とさせていただきます。

合計538名の患者さまを対象に行い、回収率は入院患者さま53%、退院患者さま37%でした。

掲示案内

満足度調査結果のグラフを、病院内の各掲示板に掲示しておりますのでご覧ください。

また、結果のグラフと、ご家族の方からいただきました具体的な意見をまとめたものを、ご自由にお持ち帰りいただけるよう病院受付に設置しています。

ご家族の皆さまには、お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

さて、この度の調査ですが、入院・退院患者さまご家族共に全体的に高い評価をいただきました。またコメント欄には感謝のお言葉や厳しいご指摘、改善を求めると要望なども多く寄せられました。いただいたご意見は病院内のサービス委員会にて検討し、改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。また前回と同じく院内に掲示・ホームページにて回答させていただきます。

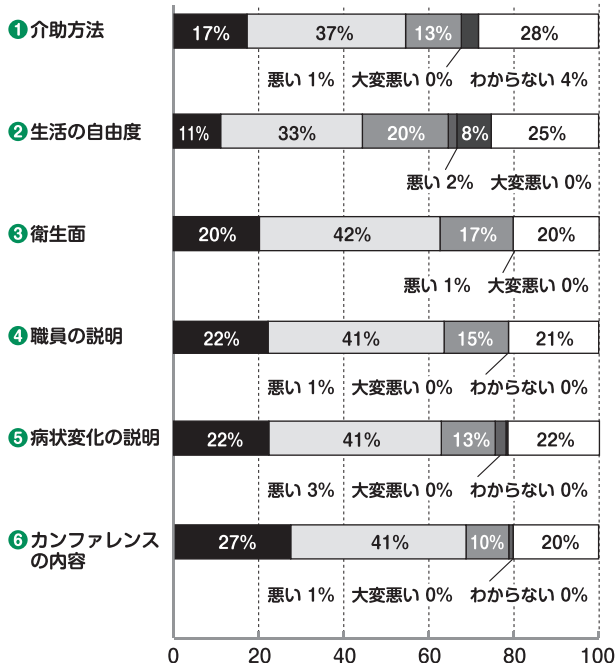
ご家族の皆さまからいただいたご意見を真摯に受け止め、職員一人一人が日々の業務を見つめ直すことができました。今後も安全で快適なサービスを提供し、多くの患者さま・ご家族さまに満足していただけるよう、職員一丸となって質の向上に取り組んでいきたいと思ひます。

ナカムラ病院 地域連携センター 河村 康平

●入院患者さま

① 医療・看護・介護

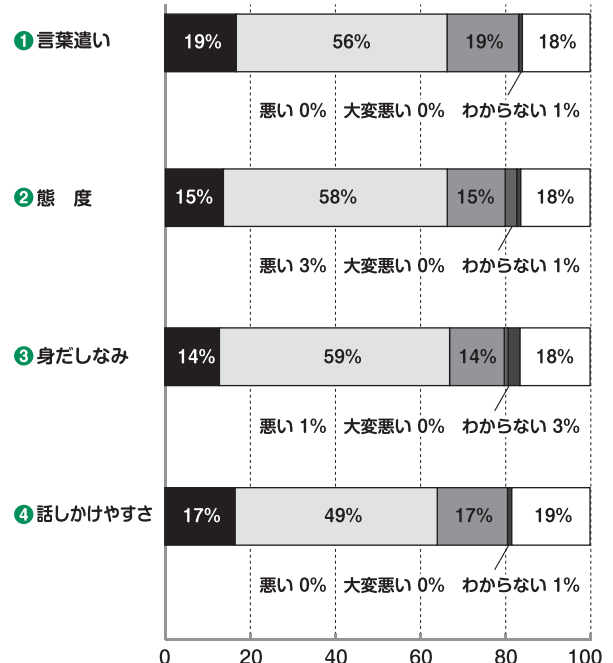
■ 大変良い □ 良い ■ 普通 ■ 悪い □ 大変悪い ■ わからない □ 無回答



●退院患者さま

② 職員の接し方

■ 大変良い □ 良い ■ 普通 ■ 悪い □ 大変悪い ■ わからない □ 無回答



シリーズ全4回

第4回

『陽光の家』の在宅サービス部門の紹介 ～陽光の家訪問介護事業所の紹介～

前号より今年度は、社会福祉法人双樹会 陽光の家の在宅サービス部門の紹介をしています。最終回の今号は、「陽光の家訪問介護事業所」です。サービス提供責任者の辻道真弓さんからご紹介いただきます。

「訪問介護事業所」では、現在9人のホームヘルパーで佐伯区を中心に活動させていただいています。小規模ではありますが、ご利用者の皆さまに満足していただけるよう、日頃から研修やカンファレンス等を行い、連携を取り合っており、より良い援助、笑顔を提供できるように取り組んでいます。それでは、どのようなサービスを行っているのか紹介します。



● 訪問介護サービス(介護保険法)

～ご自宅にヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助のサービスを提供いたします～

住み慣れたご自宅で生活を続けることができるように、有資格者のヘルパーが訪問し、お手伝いさせていただきます。日常的に介護を必要とされるご利用者のために「身体介護」や、ご利用者が家事を行うことが困難な場合の「生活援助」のサービスを提供いたします。

● 障がい福祉サービス(障害者総合支援法)

～心身に何らかの障がいを持つ方を対象とした在宅サービスを提供いたします～

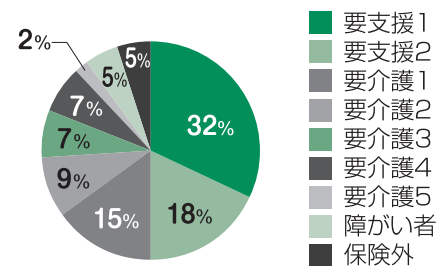
障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるように、有資格者のヘルパーがお伺いし、生活のお手伝いをさせていただきます。障がい福祉サービスの内容は「身体介護」や「家事援助」、「外出支援」です。

● 介護保険外サービス

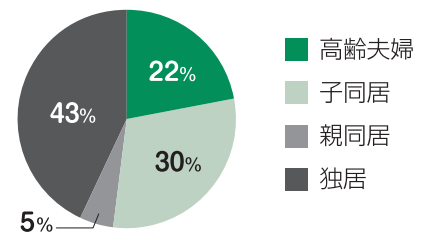
～介護保険では対応できない在宅サービスのご要望にも柔軟に対応させていただきます～

例えば、窓ふき、換気扇の掃除、日頃使用していない部屋の掃除、庭の手入れなど介護保険では対応できないご要望にもヘルパーが自宅にお伺いし、お手伝いさせていただきます。柔軟な対応で、ご利用者の毎日をもっと便利で快適にするサービスです。

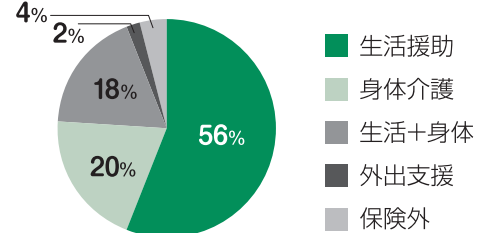
要介護度別状況



世帯別状況



サービス別状況(延べ人数)



以上、簡単に紹介させていただきましたが、「もっと聞いてみたい!」「こんな場合はどうかしら?」等ありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。在宅生活が少しでも安楽に過ごせるよう、一緒に考えていきたいと思っています。

歯科の扉

～舌苔について～



舌の表面に苔のようなものがついていることがありますか？

これは口の粘膜が剥がれ落ちたものや食物残渣、細菌、白血球などが舌の表面に付着したもので、

舌苔と言います。通常、健康な人にも見られますが、舌苔が付着する誘因として、胃腸障害、糖尿病、腎疾患、血液疾患、喫煙、抗菌薬の連用などがあげられます。また、咀嚼を十分に行えない場合や口腔清掃を行わない場合に舌苔が付きやすくなります。色調は、黄色あるいは灰白色のものが多く見られますが、抗菌薬を連用していると黒色の舌苔が付いたりすることがあります。

舌苔は口臭、舌痛、味覚障害などの原因となることがありますので、舌ブラシや歯ブラシなどで舌の表面を清掃することをおすすめします。

歯科医師 田地 豪

つばい こぼれ話

避難訓練 の巻



つばいでは平成二十六年十二月四日に佐伯消防署立ち合いのもと、夜間の地震発生を想定した避難訓練を実施しました。負傷した利用者さまを救出しながら初期消火や避難誘導を行いました。地震を想定した訓練は初めてでしたが、利用者の皆さまの落ち着いた行動に

消防署の方から、お褒めの言葉をいただきました。起きてほしくない地震ですが、もしもの時に活かされる訓練になればと思います。

グループホーム つばい

ホーム長 川部 明美



陽光の家通信 【秋まつり】



平成二十六年十月十九日(日)毎年恒例となりました秋まつりを開催いたしました。去年まではお店でさつまいも・じゃがいもなどを購入していましたが、今年は陽光の家の裏庭でさつまいもを栽培・収穫するところから始めました。栽培知識がある職員が家庭用プランターにさつまいもの苗を植え、入所の方々も「早く育てばいいのね」「収穫はいつかね」と豊作の期待を込めて、水やりをしてきました。

ある利用者さまが「よし、いっぱい抜いてやる」と一所懸命引き抜いて、土の付いたさつまいもを手にとぼれんばかりの笑顔をされていたことに強い印象を受けました。みなさん土で汚れるのはお構いなしで、収穫を楽しんでいる姿は日々の生活の中で見る事ができない明るい表情で私自身日々のケアを見直すきっかけとなりました。

当日は朝から焼き芋の準備を入所の方々と一緒に行い、「おいしく出来上がるといいね」「楽しみだね」など普段より会話が弾んで作業を進めることができました。

芋はもみ殻(すくも)でじんわりと中まで火が通るように焼きました。時間はかかりましたが、その時間も楽しみな時間となりました。

焼き芋の出来上がりは小さいながらも蜜があり、「甘くておいしい」ととても好評でした。自分たちで育て収穫し食すことのできた事は、入所の方々にとつてはなつかしくそして、生活を強く感じることでできた時間だったと思います。これからもみなさまが、日々生き生きと過ごせるように支援して参ります。

特別養護老人ホーム 陽光の家

相談員 佐々木 雄治

いきいき行事ダイジェスト

10月

- バスハイク【植物公園】(まいえ1)
- 外食(つばい)
- お月見お茶会&お誕生日会(まいえ2)
- 生花クラブ(陽光の家)
- 秋のカラオケ大会(A3)
- 秋の風船パレー大会(B5)
- 風船パレーと玉入れ(B7)
- 秋祭り(陽光の家)
- デイケア昼食バイキング(にぎや家)
- バスハイク【植物公園】(まいえ1)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 歌とリズム体操(つばい)
- 法話会【光西寺】(陽光の家)
- 誕生日会(つばい)
- ボランティア・売店・書道クラブ(陽光の家)
- 料理【押し寿司】(まいえ2)



11月

- ケーキバイキング(B5)
- 外食(つばい)
- 物故者慰霊祭(陽光の家)
- 敬老会(A3)
- 慰問【ひかり座】(陽光の家)
- 蕎麦打ち(B7)
- 手作りおやつ【プリンアラモード】(つばい)
- 秋のバスハイク(にぎや家)
- 法話会【西楽寺】(陽光の家)
- 秋の音楽会(まいえ2)
- 法話会(リハビリ)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- 運営促進会議(つばい)
- 料理【スイートポテト】(まいえ2)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- 11月の誕生日会(まいえ1)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 大正琴演奏会(全体行事)

12月

- 12月の誕生日会(まいえ1)
- ひまわり会慰問(陽光の家)
- ボランティア(陽光の家)
- 平和通りイルミネーション見学(つばい)
- 大正琴演奏会(つばい)
- 法話会(浄土寺)
- クリスマス&忘年会(まいえ1・まいえ2)
- 生花クラブ(陽光の家)
- クリスマス会(B5・B7)
- 蕎麦打ちバイキング(にぎや家)
- 家族会忘年会(陽光の家)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- クリスマス会(全体行事)
- 大正琴慰問(陽光の家)
- クリスマスの食卓
- 忘年会(A3)

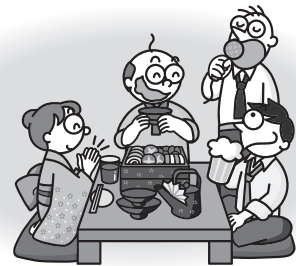


平成二十六年十二月二十六日(金)、A3病棟ホールにて忘年会を行いました。

一か月前から患者さまは「今年はいつ忘年会をするんかの?」「予算は〇〇くらいでええと思うがの」と大変心待ちにされていきました。

そして、いよいよ当日を迎え、みなさん席に着き、ジュースなどを配ってまわりましたが、待ちきれない患者さまはすぐに飲んでしまい「乾杯」前にフライングです。仕切りなおして、代表の患者さまの「乾杯!」の合図で会は始まりました。あまり口にする機会のないおつまみなどもあり、普段は食事量の少ない患者さまも食が進んでいるよ

いきいき行事だより



うでした。おつまみだけでなく、デザートのカッキーもあり、大変喜ばれ、昼食からさほど時間が経っていないにも関わらず完食されている方がほとんどでした。会の後半からはカラオケも始まり、気分よく唄われ、会に華を添えられました。

あつという間に時間は過ぎ閉会となりましたが、よほど満足していただけなのか早くも「新年会もせんにやあいけんの。」との声もいいただき、大成功の忘年会となりました。

ナカムラ病院 A3病棟

介護職 山本 将典





カレンダー展

2015年

今年も新年恒例のカレンダー展を企画しました。

今年も国際的な社会不安や広島
の土砂災害などの世相を反映して
か、日本の美しい自然や良き伝統
を絵柄にしたカレンダーが少なく
正月らしさに欠けた企画になった
ように思われます。

カレンダーは時代と共に移り変
わる世相を反映し、カレンダーを
通して社会の推移を垣間見ること
ができるように思われます。

展示会終了後は、ご希望のカレ
ンダーを新年の贈り物として贈呈
させていただきます。

新雪に包まれた「安らぎの郷」
に清新な思いを寄せられて、新し
い年を良い年にして下さい。

PIAギャラリー

顧問 赤木 博典



ボランティアをお願いします!!

あなたの特技を 病院・施設で活かしませんか?

病院・施設ボランティアは利用者さまの生活に快適さと潤い
を運ぶ活動です。個人でもグループでも結構です。

現在、生け花、詩吟、手工芸、書道、フラワーアレンジメント
教室の講師、お茶席、メイクアップ、ギャラリーの展示作業な
ど、多くのボランティアの方々にご活躍いただいています。

お問い合わせは...

TEL082-923-8333 (担当:中田)

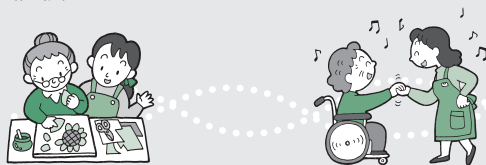
広島県老人保健施設協議会
平成二十六年 会長表彰(施設表彰)

一月二十四日(土)、第二十二回
広島県介護老人保健施設大会が広
島国際会議場で開催されました。
その開会式で、当施設まいえは協
議会加入年数が二十年以上に達し
た会員施設とし
て会長表彰(施
設表彰)を受け
ました。当日は
まいえ以外にも
県内の二施設
が施設表彰を
受けました。



看護・介護の理念

我々看護・介護職は、患者さまの自立を目標
に精神的、肉体的苦痛を軽減し、尊厳を持っ
て安心・安全な療養生活ができる看護・介護
を提供します。



ピーアイエー理念

我々は幸齢社会を創ります

我々は、今後増大する高齢者の医療、福祉の
要望や要請に対応したサービスを創造する
社会的使命を自覚し、精神的、肉体的苦痛や
負担を軽減し、安心して残りの人生を幸福に
送って頂ける環境とサービスの創造と提供を
行います。

みなさん、新年あけましておめで
とうございます。昨年広島は、土砂
災害があったり、大雪が降り積った
りと、大変なこともありましたね。
平成二十七年はどんな年にしたい
ですか? とりあえず、編集後記を書
いている師走の私は、新年実家のこ
たつでお雑煮が食べたくてたまらな
くなっています。
平成二十七年は未年ということで、
みなさんにとって、体も心もふとこ
ろも、(未のように)モコモコと温か
い年になりますように!



編集後記



平成27年 2月 ▶ 4月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示 コーナー	2月上旬 ▶ 4月下旬 とびかい 藤美会 作品展
第二展示 コーナー	2月上旬 ▶ 4月下旬 たはら かおる 田原 馨 作品展